



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

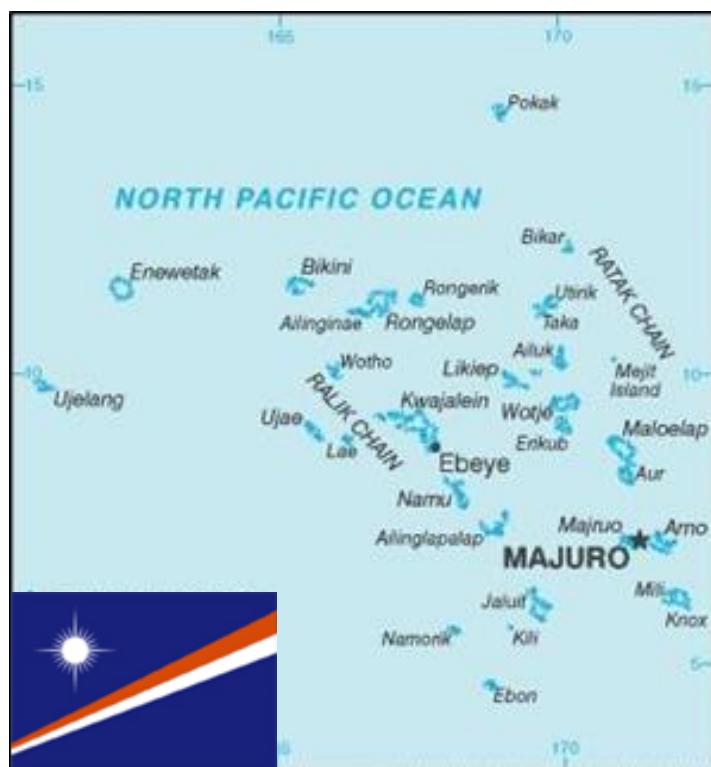
評価報告書

マーシャル諸島共和国
 — 2019年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
 (終了時評価 2020年4月)

事業概要

国名	マーシャル諸島共和国
プロジェクト名	2019年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2019年8月9日(覚書署名)～2020年3月31日
相手国政府覚書署名 省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：天然資源・商業省 実施機関：天然資源・商業省海洋資源局 (MIMRA : Marshall Islands Marine Resources Authority)

プロジェクト実施の経緯と背景



マーシャル諸島共和国(以下「マーシャル」という。)政府は、「RMI Agenda 2020: A Framework for Progress」の「10 Major Challenges」で目標として、食糧安全保障の強化、離島の生活の質の向上や福祉の増進等を挙げ、各種の漁業振興策を実施し、水産関連施設の安定した稼働を目指している。

このような戦略の下、同国海洋資源局 (Marshall Islands Marine Resource Authority : 以下「MIMRA」という。) は、各種の漁業振興策を実施しているが、同国の水産関連施設は老朽化に伴う故障や運営管理の不備により、一部の施設は本来の機能を発揮することができ

ず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、マーシャル政府は公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言についての要請を行った。

財団は、我が国とマーシャルとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する 水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される
成果	<p>①MIMRA 所属運搬船の修理・修復及び技術指導 MIMRA 所属運搬船の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>②MIMRA 製氷施設の修理・修復及び技術指導 MIMRA 所属製氷機の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>③MIMRA 所属漁船の修理・修復及び技術指導 MIMRA 所属漁船の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>④MIMRA シャコガイ孵化場の修理・修復及び技術指導 MIMRA シャコガイ孵化場の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p>
活動	<p>①MIMRA 所属運搬船の修理・修復及び技術指導 航海計器の電子装置、油圧装置等電装品の交換技術を指導した。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>②MIMRA 製氷施設の修理・修復及び技術指導 コンデンシングユニット交換工事に伴う工事方法及びコンデンサー排気ダクトの設置及び機械室の温度管理方法を指導し、MIMRA 製氷施設を修理・修復した。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>③MIMRA 所属漁船の修理・修復及び技術指導 船外機のエンジン開放整備における所要部品の管理手法を指導した。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>④MIMRA シャコガイ孵化場の修理・修復及び技術指導</p>

	<p>海水ポンプ及び発電機の点検技術の指導を行い、MIMRA シャコガイ孵化場の海水ポンプ及び発電機を修理・修復した。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p>
<p style="text-align: center;">投 入</p>	<p>財団側</p> <p>1) 専門家</p> <p>計画</p> <p>第1回巡回指導：チームリーダー 漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2019年10月中旬～10月下旬（約15日）</p> <p>第2回巡回指導：チームリーダー 漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2020年1月中旬～2月下旬（約40日）</p> <p>実績</p> <p>第1回巡回指導：チームリーダー／業務調整 2019年11月24日～12月1日（8日） 冷凍機器専門家 2019年10月26日～11月18日（24日） 漁船機関専門家 2019年11月23日～12月3日（11日）</p> <p>第2回巡回指導：漁船機関専門家 2020年1月11日～2月27日（48日） 冷凍機器専門家 2020年1月26日～2月27日（33日）</p> <p>延日数</p> <p>計画：（165人・日） 実績：（124人・日）（計画対比：75%）</p> <p>2) 主な資機材 操舵装置、航海計器、SSB無線機のアンテナケーブル、コンデンシングユニット、排気ダクト、関連予備品、工具及び部品他</p> <p>3) 事業費 予算額 24,400千円 実績額 25,444千円（予算対比：104%）</p> <p>相手国側</p>

	1) 主なカウンターパート MIMRA 2名 2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 MIMRA における執務室及び電気・水道・電話（国内回線）の無償提供
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、マーシャル政府が策定した「RMI Agenda 2020: A Framework for Progress」の「10 Major Challenges」に目標として掲げる食料安全保障の強化、離島の生活の質の向上や福祉の増進等に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

マーシャル政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査において本年度実施の4案件に関する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、船舶機関等の廃油及び機械の廃棄部品等の扱いについては、マーシャルの法規に従って処理した。特に冷媒に関しては専用回収容器を用いる等、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象は、ボート、海水ポンプ、発電機、漁船、製氷施設が主であり、周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

実施期間は、専門家による効率的な指導等の実施により計画より短縮された（55：48→計画対比 87%）。事業費は予算額をやや超過したが、概ね効率的であったといえる。（予算及び計画対比：事業費 104%、実施期間 75%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で移転技術の指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか
特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

◆有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

水産関連施設の機能が計画どおり回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

プロジェクト目標：水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。

水産関連施設の運営改善に係る必要な技術移転が計画どおり行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルが益々向上して、施設の稼働が円滑になるとともに、予備品の管理方法の指導によりワークショップの運営改善が促進されたことからプロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）
特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① MIMRA 所属運搬船の修理・修復及び技術指導

期待された成果：MIMRA 所属運搬船の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

運搬船の修理・修復を行い、カウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。また、予備品の管理方法を指導し、ワークショップの運営改善が促進された。

② MIMRA 製氷施設の修理・修復及び技術指導

期待された成果：MIMRA 所属製氷機の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、カウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

③ MIMRA 所属漁船の修理・修復及び技術指導

期待された成果：MIMRA 所属漁船の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

漁船の修理・修復を行い、カウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

④ MIMRA シャコガイ孵化場の修理・修復及び技術指導

期待された成果：MIMRA シャコガイ孵化場の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、カウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

◆インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、運搬船、製氷施設、発電機、漁船、養殖場等の修理・修復に関するカウンターパートの技術が向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、製氷施設等の水産施設が順調に稼働すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、マーシャル政府が策定した「RMI Agenda 2020: A Framework for Progress」の「10 Major Challenges」の、各種の漁業振興策及び水産関連施設の安定した稼働の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接

的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、運搬船及び製氷施設が安定的に稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、これら対象施設が順調に稼働すれば、鮮度低下で廃棄される漁獲物が減少し、MIMRA の漁獲物取扱量が増え漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

また、氷は地域住民にも供給されることから、住民の生活向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

また、今後 MIMRA シャコガイ孵化場が順調に稼働すれば、シャコ貝の種苗生産・配布を通じ、アルノ漁民の現金収入を得る機会が増加し、経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは MIMRA の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設等の水産施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、マーシャル政府は、当該施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、運営のモニター及び財政支援を積極的に行うこととしている。したがって、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上